

- ➡：人の認識や必要とする情報に該当するデータの登録
- ⇒：人が持つ直観や判断する能力を代替する処理
- ：総合的な判断の考え方データ

No.	人が行う複数の判断材料を基に総合的な判断を行う流れ		リアルタイム自律判断AIにより人の判断を代替する処理
1	複数ある判断根拠情報の <b>重み</b> を認識	➡	重要度設定テーブルに判断根拠情報の <b>重要度</b> を設定
2	<b>判断対象の情報</b> を収集する	➡	判断結果テーブルに <b>判断結果とその属性</b> を登録
3	好みによる直観的な <b>絞り込み</b>	⇒	判断根拠情報の <b>全組み合わせ</b> を網羅したデータの生成
4	絞り込んだ対象の詳細を <b>再確認</b>	⇒	網羅したデータに設定した判断根拠情報の重要度を反映して「 <b>組み合わせ重要度</b> 」を算出
5	最終 <b>決定</b> （判断）	⇒	重要度順に並べ替え、 <b>要求に沿った方向で判断結果テーブルを検索し指定された条件で結果（判断）を出力する</b>

リアルタイム自律判断AIは、総合的な判断機能を持たない既存プログラム言語による**コンピュータ処理機能の限界**を超えるため「既存プログラムによる処理の方法」を工夫することで**総合的な判断を可能にした特許技術**です

※ 自ら判断する機能を持たない従来型全てのAI（パターン認識やアーキテクチャ等を利用して事前学習した判断や文章などを再現するAI）による**特定のタスク**を限りなく便利に、かつ効率良く、そして面白くする…などの方向性を持ったAIではありません

人の判断に依存してきた**業務のAIエージェント化**により、仕事の変革/産業の変革実現を支援～推進するAIです